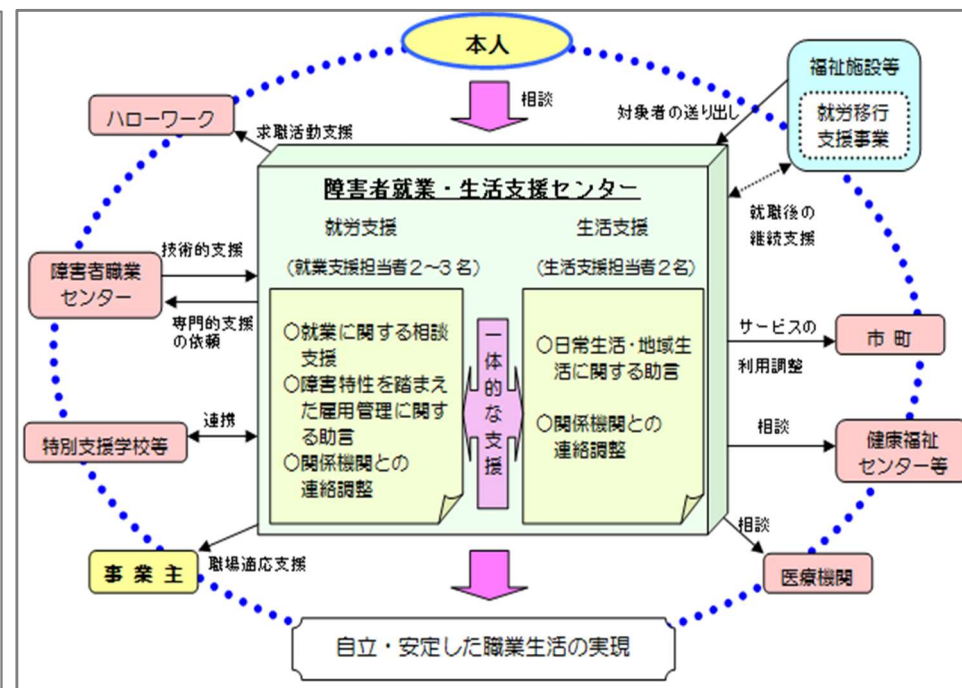


札幌障がい者就業・生活支援センター たすく

平成28年度 活動報告書

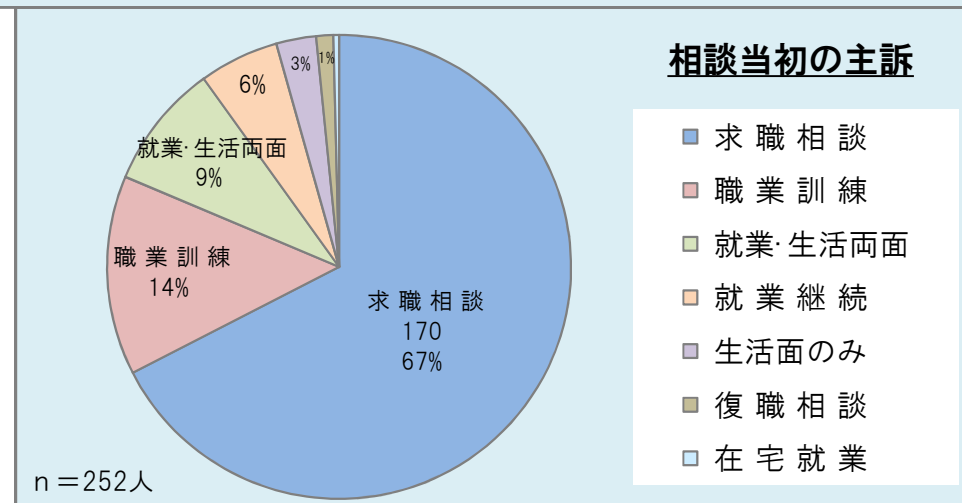
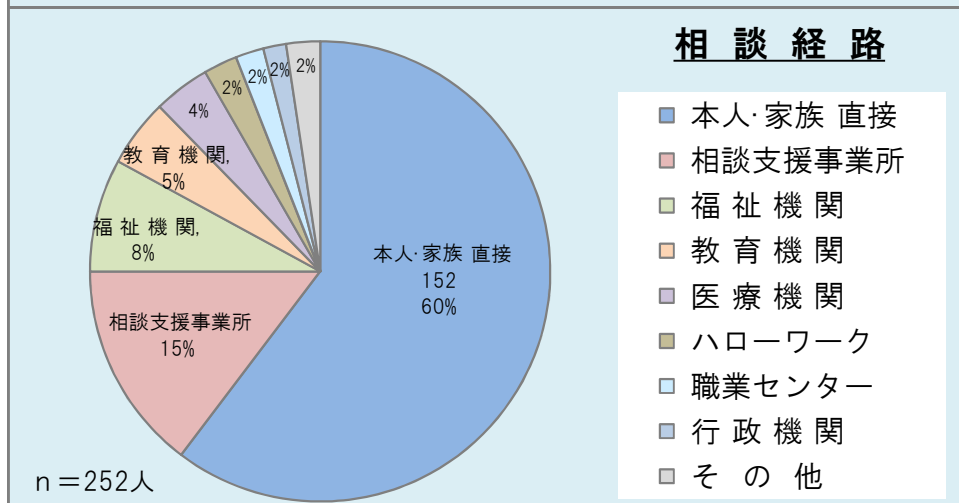
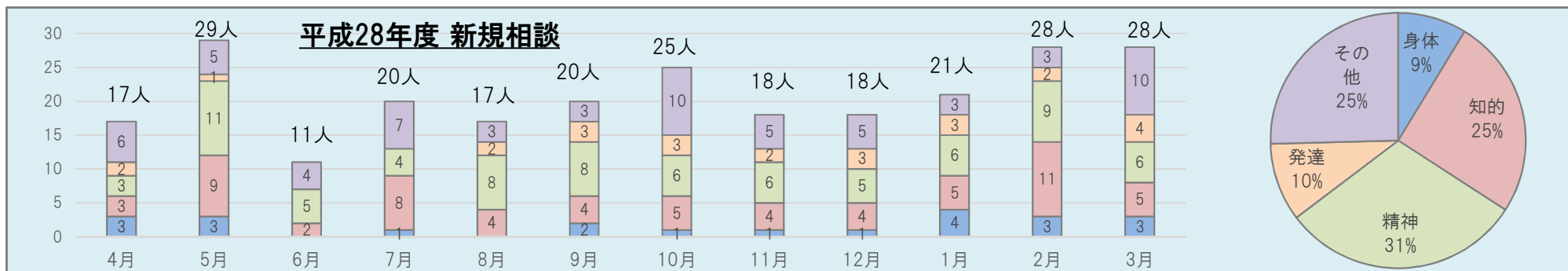
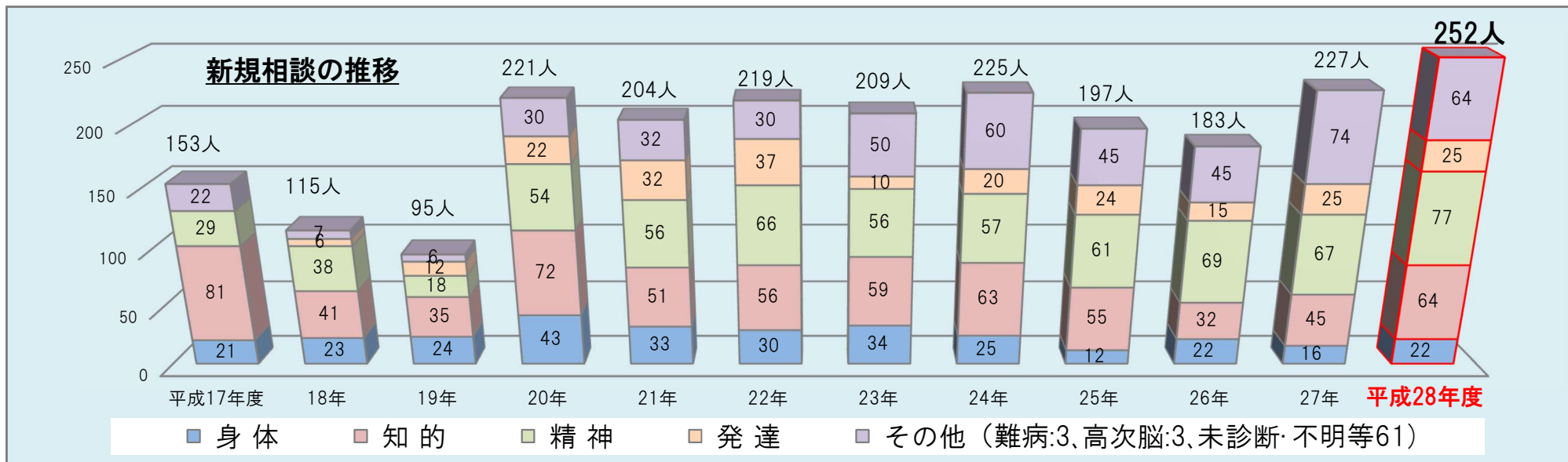
報告内容

1. 新規相談の状況
2. 登録者の状況
3. 相談支援の状況
4. 就職者の状況
5. 職場実習等の状況
6. 就労系サービス利用開始の状況
7. 企業からの相談状況
8. まとめ

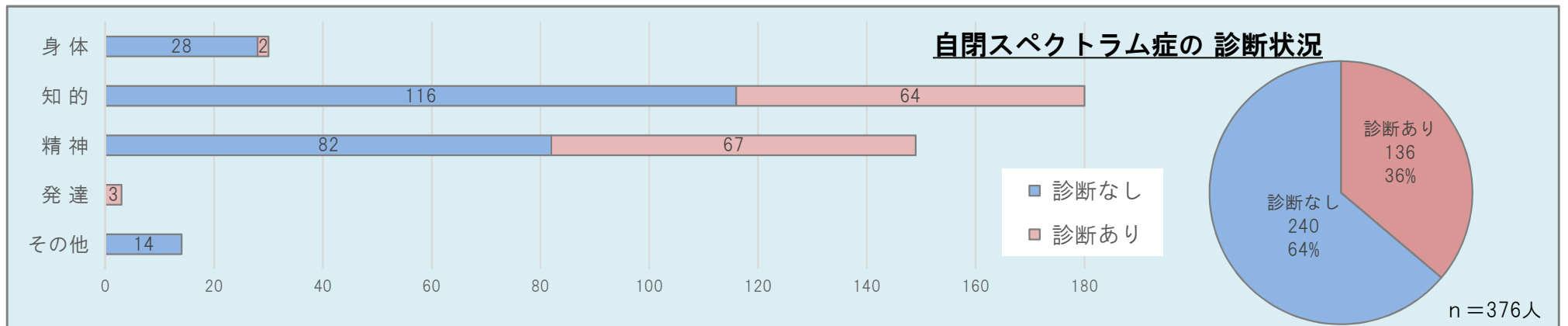
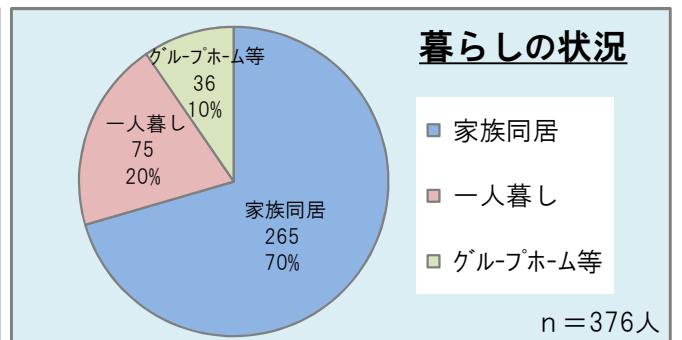
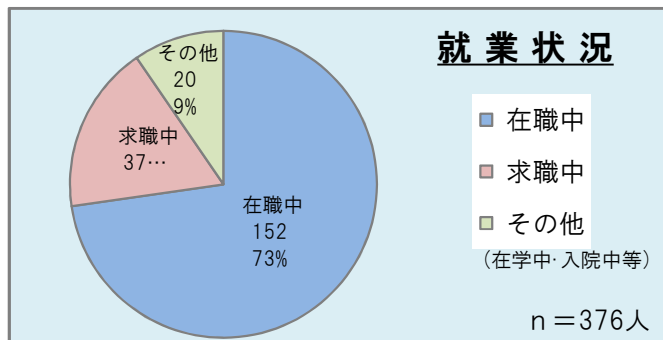
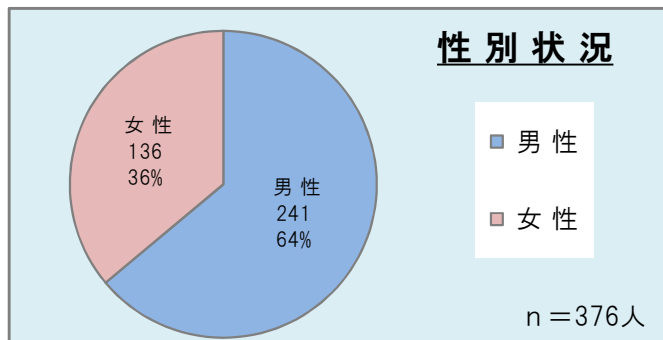
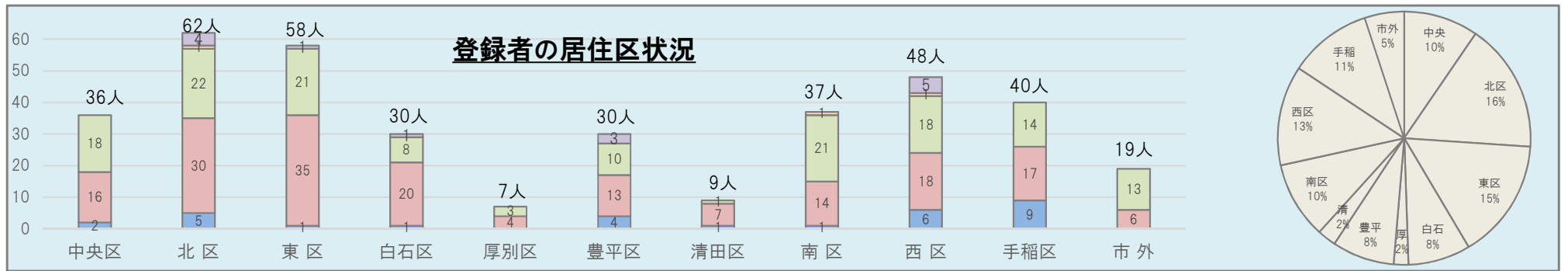
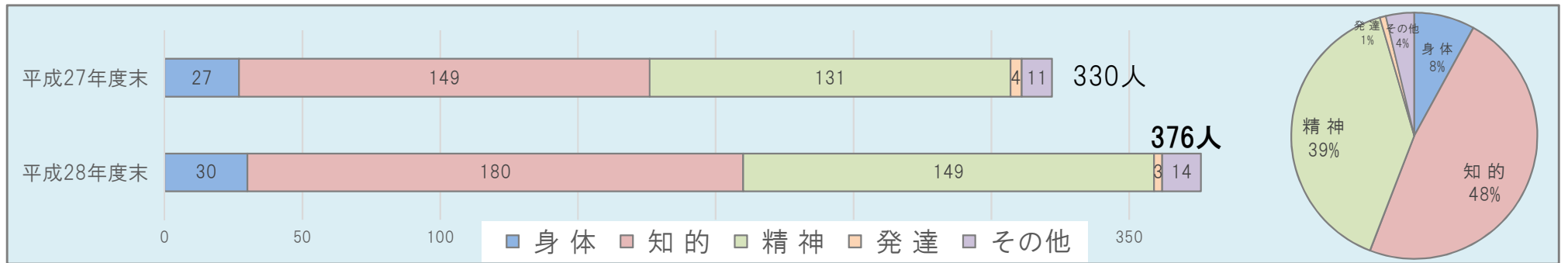


- ◆ 障がい内容、手帳の有無を問わず、相談支援を行っています。
- ◆ この報告書では、障害者手帳の交付を受けておられる場合は、自閉スペクトラム症・高次脳機能障がい・難病等の診断がある方についても交付された障害者手帳の種別で人数・件数等を計上しています。

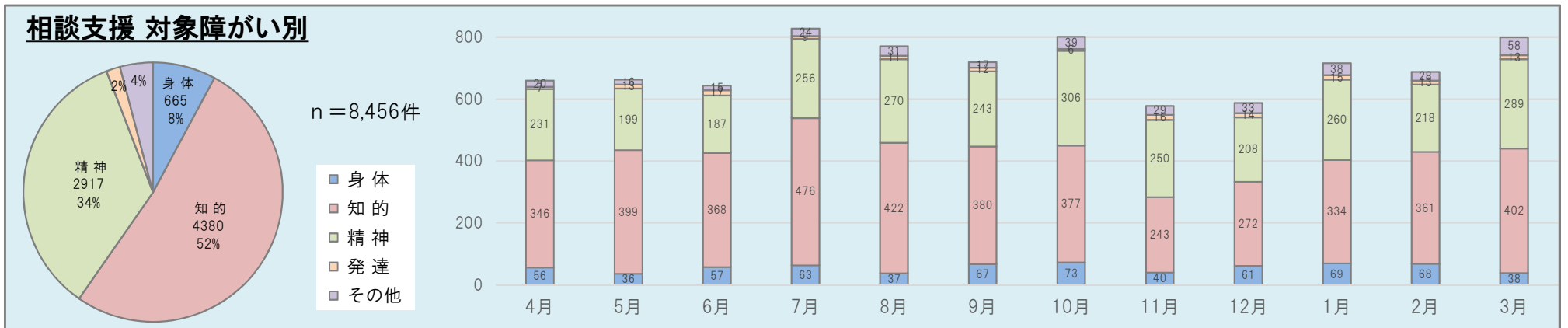
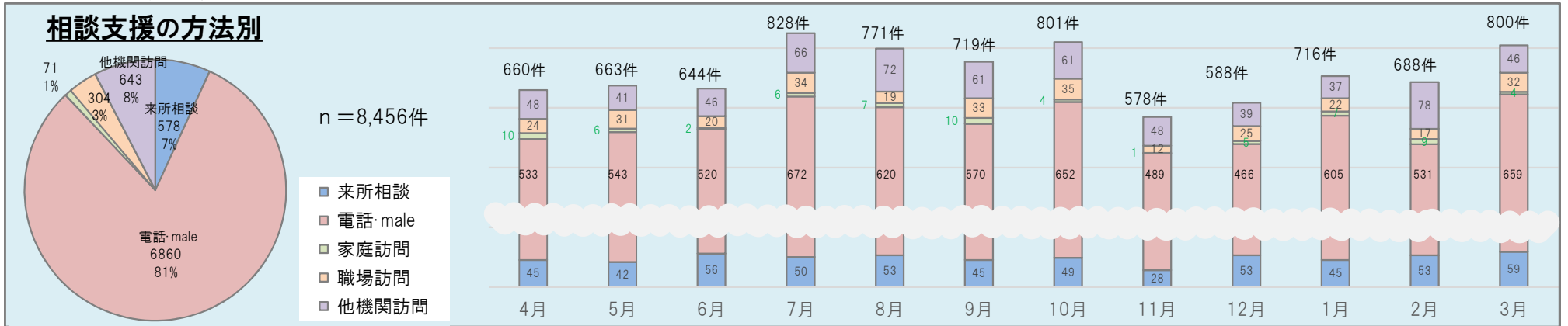
1. 新規相談の状況



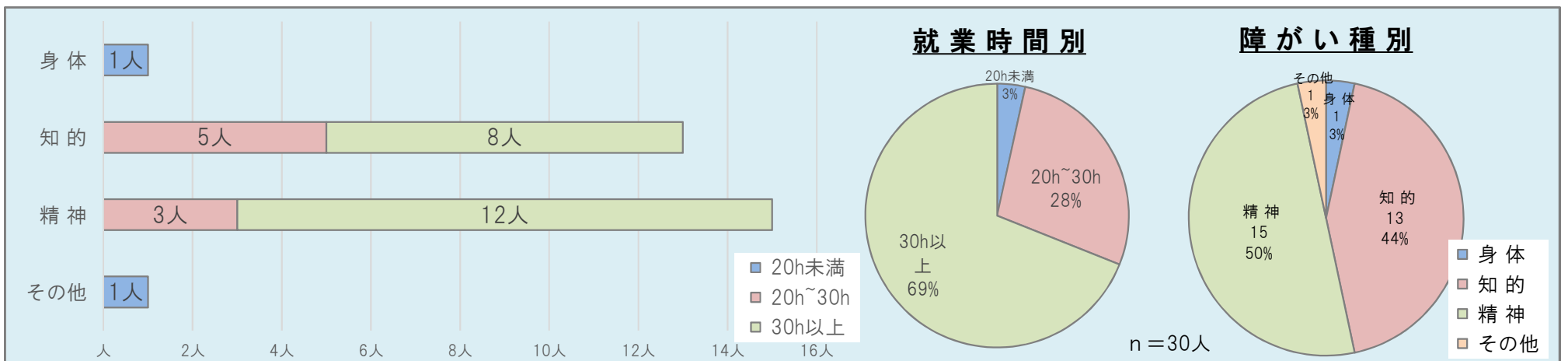
2. 登録者の状況



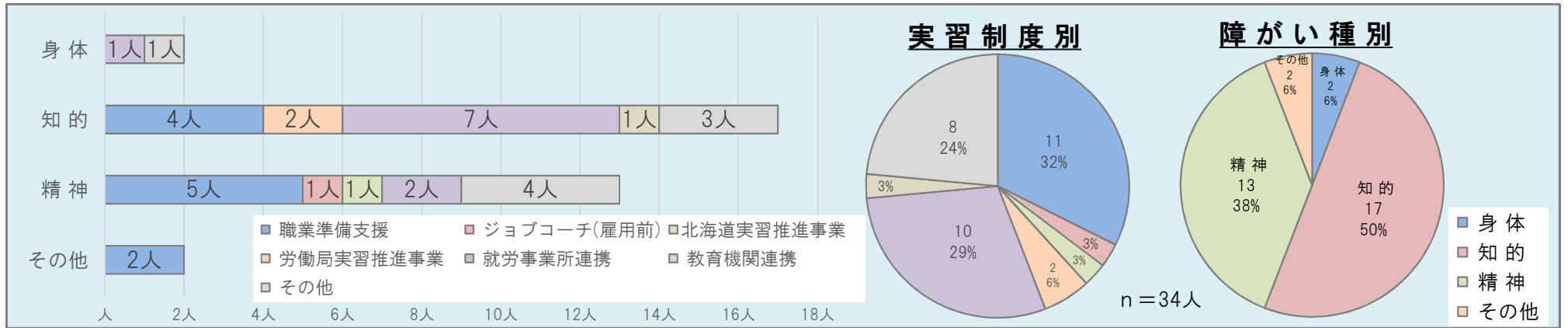
3. 相談支援の状況



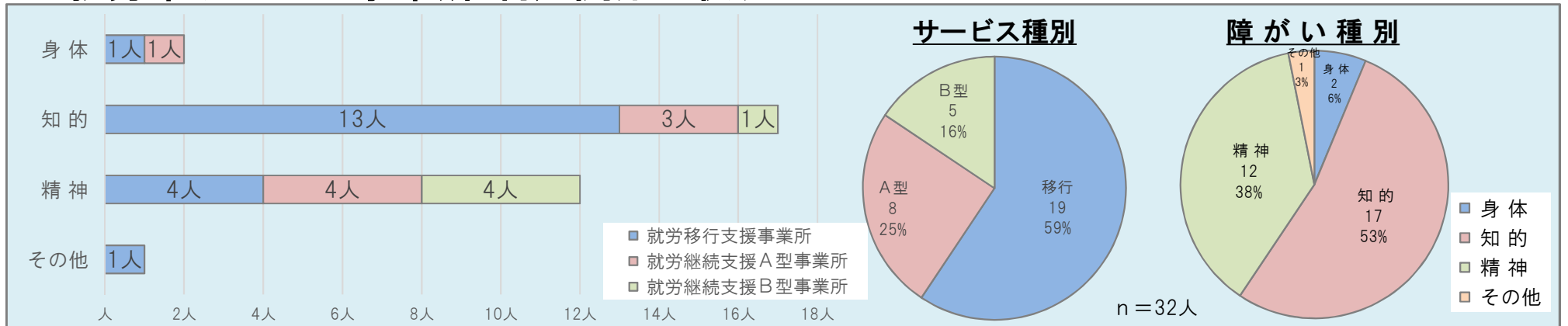
4. 就職者の状況



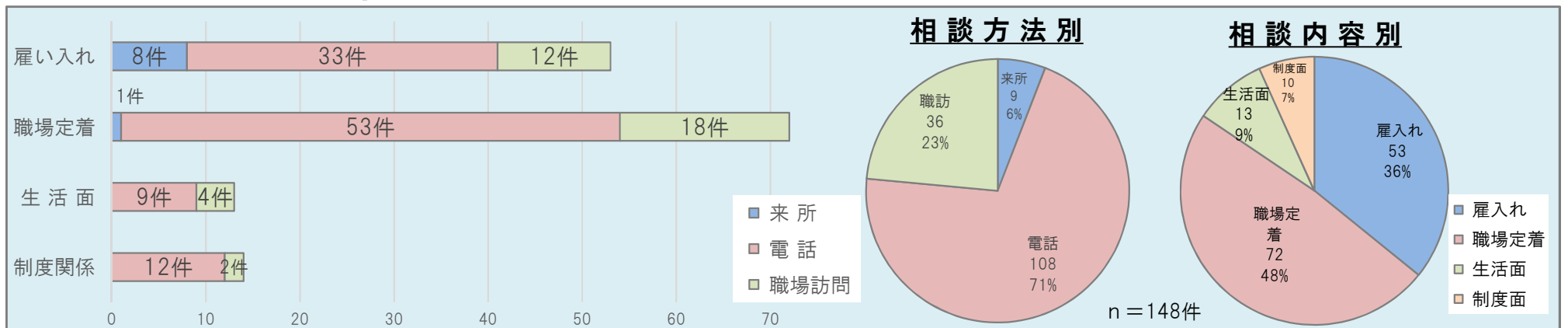
5. 職場実習等の状況



6. 就労系サービス事業所 利用開始の状況



7. 企業からの雇用管理等の相談状況



8. まとめ

◆ 新規相談の状況

- ・ **252人** 過去最多を更新（前年度比 25人増）。
初回相談まで2ヶ月以上お待ち頂かざるを得ない時期も。対応方法を試行錯誤中であり、次年度の大きな課題。

◆ 登録者の状況

- ・ 平成27年度末登録者330人 - 2年以上相談支援がなかった7人を登録抹消 = 平成28年度当初 323人。
年度内に54人を新たに登録、平成28年度末の登録者は**376人**となっている。
- ・ 内、自法人のサービス利用者は13人（ワークス翔 移行:2人・B型:3人、サポートinサッポロGH:8人）
登録者に占める割合は 3.5%

◆ 相談支援の状況

- ・ 登録者・新規相談者を含め477人の対象者に対し、**8,456件**の相談支援を実施。
- ・ 職場訪問件数が減少（昨年度比▲114件）。
新規相談への対応(福祉サービス等への橋渡しなど)に追われている状況が数字からも読み取ることができる。

◆ 就職、職場実習の状況

- ・ 職業準備支援及び職場実習 **34人**。 目標値35人に届かなかった（達成率97.1%）
- ・ 就職者 **30人**。内、年度末時点で職場定着されている方が26人（定着率86.7%）

◆ 就労系サービス利用開始の状況

- ・ 4月に実施した「就労移行支援事業所 状況調査」結果などを参考に、見学同行や体験振返りへの同席など支援を進め、**19人**が就労移行支援事業所の利用を開始（内 自法人ワークス翔は、新規利用1人・再利用1人）。
- ・ 就労継続支援A型・B型は、事業所数も多く情報収集に手が回らず、マッチする事業所選定に苦労している。

◆ 企業からの相談状況

- ・ 50社に対して148件の相談対応。
雇入れに関する相談54件から具体的に支援を進めた結果、3件が採用・就職に至っている。

◆ 平成28年度を振り返って

- ・ 職員5名体制（1名育児休暇取得）。ペア担当制で支援の方向性等を常に協議・確認して相談支援にあたった。
- ・ 札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会など、地域での各種活動にも積極的に取り組んだ。
地域で開催された各種会議出席52回、各種研修・セミナー等での発信機会18回。
- ・ 年々増加し続ける新規相談に対するタイムリーで丁寧な対応が次年度の最優先課題。
札幌市の就業・生活相談支援事業4ヶ所との情報共有など、継続的に課題解消に取り組んでいく。

